

名古屋 蓬左文庫

TEL (052) 935-2173
〒461-0023 名古屋市東区徳川町1001
ホームページ <http://housa.city.nagoya.jp/>



蓬左文庫は、尾張徳川家の旧蔵書を引き継いだ文庫です。蔵書数は約11万点。「河内本 源氏物語」など7件154点の重要文化財、尾張徳川家初代義直が徳川家康の遺品として譲り受けた駿河御謄本、歴代藩主が収集した書物を中心に、全国的にも優れた古典籍を伝えています。

閲覧室では蔵書の閲覧や画像利用に加え、古典や郷土史に関するレファレンスにも応じています。また、国の有形文化財に登録されている旧書庫棟を利用したエントランスホールでは、かつての書庫の様子を再現し、展示室では徳川美術館とともに、大名文化や古典籍をテーマにした展覧会を開催しています。



■閲覧室/入室無料 館外貸し出しはいたしません。

【閉架図書】午前9時30分～12時、午後1時～5時

【開架図書】午前9時30分～午後5時

【複写サービス】保存など支障のない範囲で、CD-Rからのプリントアウトまたはマイクロフィルム複写などの方法により行います。

閲覧室内の書架(15,000冊収容)にある参考図書は自由にご覧いただけます。書庫内の資料は、検索・閲覧システムを使って閲覧請求ができます。

徳川美術館・蓬左文庫共通

■開館時間/午前10時～午後5時(入館は午後4時半まで)

■休館日/月曜日(祝日・振替休日の場合は直後の平日)

5月1日(月)・8月14日(月)は、臨時開館(但し、蓬左文庫閲覧室は休室)
平成29年12月14日(木)～平成30年1月3日(水)

観覧料 (一般)1,400円※ (高・大生)700円 (小・中生)500円

※20名様以上の団体は一般200円、その他100円割引 ※毎週土曜日、小・中・高生入館無料

※平成29年6月2日(金)～7月9日(日)、平成30年1月4日(木)～1月28日(日)の一般の観覧料は、1,200円となります。(※内枠内の展覧会対象)

徳川園

TEL (052) 935-8988
〒461-0023 名古屋市東区徳川町1001
ホームページ <http://www.tokugawaen.city.nagoya.jp/>



徳川園は池泉回遊式の日本庭園で、清流が滝から渓谷を下り海に見立てた池へと流れるありさまは、日本の自然景観を象徴的に凝縮しています。さらに、高低差の大きな地形、既存のまま取り入れた樹林、立体的に迫る大きな岩組みが特徴で、変化に富んだ景観を大胆に切り替える構成を用いて大名庭園の「荘厳さ」が体感できます。また、新緑や紅葉、牡丹や花菖蒲の花々など四季を通じて楽しめる庭となっています。

■開園時間/午前9時30分～午後5時30分(入園は午後5時まで)

■休園日/月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始(12/29～1/1)

■入園料/一般・高大生 300円

徳川美術館・蓬左文庫共通観覧 一般 1,550円※

※平成29年6月2日(金)～7月9日(日)、平成30年1月4日(木)～1月28日(日)の一般の入園料(徳川美術館・蓬左文庫共通観覧)は1,350円となります。

ガーデンレストラン 徳川園 052-932-7887

日本料理 宝善亭 052-937-0147

ショップ 葵 052-325-5810

徳川美術館

TEL (052) 935-6262
〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017
ホームページ <http://www.tokugawa-art-museum.jp/>



徳川美術館は、徳川家康の遺品を中心に、尾張徳川家初代義直(家康九男)以下代々の遺愛品、いわゆる「大名道具」1万件余りを取りめる美術館です。国宝「源氏物語絵巻」をはじめ、国宝9件、重要文化財59件など、種類の豊富さ、質の高さ、保存状態の良さを誇ります。本館は国の有形文化財に登録されています。

【名品コレクション展示室 約1ヶ月毎に展示作品を替えています。】

尾張徳川家伝来の名品を中心に、大名の生活と文化を紹介する展示室です。尾張徳川家当主の公的生活の場であった名古屋城二之丸御殿を、部分的ながらも時代考証に基づいて、そのまま復元してあります。美術品とそれらが使われた空間との一体的な体系展示によって、美術品単体の美にとどまらず、日本の伝統美である「構成の美」あるいは「取り合わせの美」を鑑賞することができます。



交通のご案内

なごや観光ルートバス「メーグル」

名古屋駅バスターミナル11番のりば
名古屋駅発着で平日30分～1時間に1本、
土・日・休日は20分～30分に1本運行
「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」停留所下車徒歩約1分

名古屋駅より

【市バス】名古屋駅バスターミナル10番のりば 基幹2系統「猪高車庫」ゆき
「徳川園新出来」停留所下車(所要時間約20分)徒歩約3分

【名鉄バス】名鉄バスセンター4番のりば 「三軒家」方面ゆき
「徳川園新出来」停留所下車(所要時間約20分)徒歩約3分

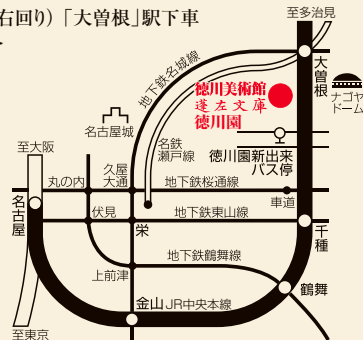
【J R】JR中央本線「多治見」方面行「大曾根」駅下車
南出口から徒歩10分

【地下鉄】桜通線「野並」方面行、「車道」駅下車1番出口より徒歩約15分

栄より

【市バス】栄バスターミナル(オアシス21)3番のりば
基幹2系統「引山」、「四軒家」方面ゆき
「徳川園新出来」停留所下車(所要時間約15分)徒歩約3分

【地下鉄】市営地下鉄名城線(右回り)「大曾根」駅下車
3番出口より徒歩15分



平成29年度ご案内
尾張徳川家ゆかりの地
大名文化の真髄が体感できる



名品
コレクション
展示室

- 4/4(火)~5/7(日) 特集展示 粟田口大集合!
- 5/9(火)~6/6(火) 名刀物語①
- 6/7(水)~7/2(日) 名刀物語② 初夏の茶の湯① 七夕飾り
- 7/4(火)~8/1(火) 初夏の茶の湯② 7/4(火)~9/3(日) 特集展示 関ヶ原合戦
- 9/5(火)~10/11(水) 名刀物語③
- 10/12(木)~11/14(火) 名刀物語④
- 11/15(水)~12/13(水) 名刀物語⑤ 源氏物語の世界
- 1/4(木)~2/6(火) 特集展示 刀身彫刻の世界 鶴と亀 香の世界①
- 2/7(水)~3/6(火) 名刀物語⑥ 香の世界②
- 3/7(水)~4/1(日) 名刀物語⑦

徳川美術館 本館展示室

4/15(土)~5/28(日)

春季特別展 金と銀の国 ジパング

神秘的で崇高な輝きがあり、権力者の威厳と風格をも象徴する「金」。清新な輝きとともに、渋く奥行きのある輝きをみせる「銀」。貨幣はもとより、宗教遺品・金碧の障屏画・調度類・武具などに用いられてきた「金」と「銀」の、日本における美意識を探索します。



金銀鍍宝相華唐草透彫華籠 神照寺伝来 個人蔵



砂張釣舟花生

7/15(土)~9/10(日)

特別展 天下人の城

織田信長の居城の変遷を軸に、秀吉・家康に繋がる天下人の城の系譜を追い、併せて天下の名城・名古屋城の歴史と構造、天守台を築いた加藤清正ゆかりの品々を紹介します。



名古屋城天守・二之丸御殿古写真 徳川林政史研究所蔵

9/16(土)~11/5(日)

秋季特別展 天璋院篤姫と皇女和宮

激動の幕末、徳川將軍家に御台所として嫁いだ篤姫と和宮。江戸城大奥での華麗なる暮らしぶりを再現しつつ、徳川の世の終焉を見届けた二人の波乱の生涯を振り返ります。



萌黄紋縮緬地雪持竹雀文牡丹紋付小袖 徳川記念財団蔵

11/11(土)~12/13(水)

企画展 新・名品展

新館30年のあゆみー 徳川美術館では、尾張徳川家の旧蔵品や名古屋関連の作品などの収集を行なっています。新館開館以降、ご寄贈や購入によって加わった作品を紹介し、30年のあゆみをたどります。



染付磁器入花蝶詩絵菓子罩箱 齊藤芳克氏寄贈



国宝 初音時経香盆飾り

2/3(土)~4/8(日)

特別展 尾張徳川家の雛まつり

徳川美術館には、尾張徳川家の姫君のためにあつらえられた雛人形や雛道具が伝来しており、御三家筆頭の名にふさわしい質の高さを誇っています。また、明治・大正・昭和の大雛段飾りも圧巻です。大名家ならではの豪華で気品ある雛の世界を紹介いたします。



有職雛

蓬左文庫展示室

6/2(金)~7/9(日)

企画展 江戸の生きもの図鑑

図譜は現代でいう図鑑で、旺盛な知的好奇心と正確な描写への真摯な姿勢が感じられます。江戸時代の図譜の諸相とともに、尾張の本草学を紹介します。



重要文化財 日山水図屏風(右隻 部分) 金剛寺蔵



築地名苑真景・草木虫魚写生図巻(部分)



色々威具足 明眼院蔵

9/16(土)~11/5(日)

秋季特別展 大名家の御用アーティスト

美術品は、為政者によって権力を視覚化するために蒐集、製作された歴史を持します。大名家に仕えた匠たちの作品を展覧し、どのような目的で製作され、どのような図案が取り込まれたのか、大道具ならではの製作背景と美を探ります。



猛虎鹿威図(部分) 熊斐筆

11/11(土)~12/13(水)

企画展 もののあはれ

日本人は人々の出会い・別れなどから生じる様々な感情を「もののあはれ」と表現しました。いにしえより受け継がれてきた「もののあはれ」の美意識を、詩歌や物語などの文学作品や、絵画や工芸品などからたどります。



源氏物語時絵箔箱

1/4(木)~1/28(日)

企画展 奇才、我が道をゆく

達磨や布袋に一休... 達磨や布袋に一休... 東アジアの奇才たちゆかりの絵画や工芸品から、彼らの魅惑的な世界へと誘います。



布袋図(部分) 伝狩野元信筆

2/3(土)~4/8(日)

企画展 ひなを楽しむ

江戸時代以降の町なかを飾ったお雛さまは、素朴で身近な親しみやすさがあります。徳川美術館に寄贈された様々なお雛さまを中心に紹介します。



御殿雛飾り 志村家寄贈

徳川園

4/8(土)~23(日)

春を語る 徳川園牡丹祭



4/17(月) 5/1(月) 臨時開園



6/4(日)

徳川園 山車揃え



6/10(土)~7/2(日)

雨を聴く 徳川園の和傘

8/11(金・祝)~15(火)

夕べを涼む 徳川園夜会



7/15(土)・16(日)

そぞろ歩く 徳川園宵まつり 夜間開園



8/14(月) 臨時開園

10/4(水)・11/1(水) 十五夜 十三夜

月を掬う 徳川園観月会



10/21(土)~11/5(日)

風を見る 徳川園の秋景



10/22(日) 無料開園

11/3(金・祝) 徳川園開園記念日 無料開園

12/13(水)~1/14(日)

松を寿く 徳川園のお正月



11/17(金)~12/10(日)

錦を纏う 徳川園紅葉祭

11月中旬~11月下旬 ライトアップ・夜間開園

1/2(火)~2/12(月・祝)

寒を遊ぶ 徳川園の冬牡丹



2/24(土)~4/1(日)

花を誘う 徳川園の梅・桃・桜



3/18(日) 徳川園起源の日 無料開園